(ご参考：4/25) 経済関係ニュースレター（在シアトル総領事館）

ワシントン州日系企業・団体・レストラン関係者の皆様

本ニュースレターでは、当地の日系企業・団体、レストラン関係者の皆さまを含む在留邦人の方々へ、当地経済や日米関係等のニュースを「経済関係ニュースレター」として配信するものです。今後の配信を希望されない場合は、件名に「ニュースレター配信解除」と記入の上、こちらまでメールを返送ください。

本日の参考情報を以下のとおりお知らせします。

このニュースレターでは、多くの方にご利用いただける有益な情報の提供があった場合、情報元を示して掲示しています。なお、このことは、総領事館として、情報元の団体・個人をいかなる意味でも宣伝・推薦するものではないことを申し添えます。

本ニュースレターを追加で受け取りたい方が周りにいらっしゃいましたら、[こちらの登録フォーム](#)をご紹介ください。また、当地日系企業等に周知できる有益な情報等ございましたらお知らせください。館内で確認し、公平・中立の観点から適切なものを本ニュースレター等で共有させていただきます。

在シアトル総領事館では別途、月 1 回の英語ニュースレター“From Japan to the Northwest”を配信しています。こちらでは日本に関する政治・外交等の情報や当館の活動などを発信しています。登録及び過去のアーカイブは[こちら](#)から。

日ワシントン州経済関連ニュース

(1) シアトルの住宅市場が買い手有利に

シアトルの住宅市場において、高コストと経済的な不確実性に直面する買い手を引き付けるため、より低い住宅ローン金利の確保や家電の無料提供等の特典を売主が提示する動きが拡大している。オンライン不動産のレッドフィン社が4月21日に発表したデータによると、2025年1月～3月におけるシアトル地区の住宅売主の71%が上記のような特典を提示しており、同社が分析した24の都市圏のうち、特典を提供する売主の割合が最も高い都市となった。データには、売主が単に住宅の価格を値下げしたケースは含まれていない。多くの住宅購入希望者が頭金資金を株式ポートフォリオに依存するなか、米国の政治経済の混乱が、地方の住宅市場における不確実性を更に増加させている。[\(4/23付シアトルタイムズ記事\)](#)

(2) トランプ大統領の通商政策の影響を受けるワシントン企業

トランプ大統領の広範で予測不能な関税政策は、ワシントン州の幅広い業種にコスト上昇と売上減少をもたらしている。トゥッタ・ベラ、フルクラム・コーヒー、モリー・ムーンのアイスクリームといった地元の企業は、輸入依存度の高い原材料や包装材の価格上昇に直面しているほか、輸入停止、輸送コストの急騰及び海外販売の減少に苦闘している企業もある。企業経営者は、関税の負担は中国ではなく米国企業に及んでおり、サプライチェーンの崩壊、生産の停滞、消費者価格の上昇を招くと指摘している。マリア・キャントウェル連邦上院議員は、60日を超える関税措置には議会の承認を義務付ける法案を推進しており、現在の政策が経済の不安定化と雇用成長の阻害を招くと警告している。[\(4/16付シアトルタイムズ記事\)](#)

(3) スト中の労働者に失業手当を支給する法案がワシントン州下院でも可決

4月12日、ワシントン州下院において、ワシントン州のストライキ中の労働者に失業手当を支給する法案5041が可決された。法案は本議会議場で修正され、手当の支給期間に上院で承認された法案よりも8週間短い4週間の制限が設けられた。州上院は、下院の修正案に同意するか又は上院で通過した法案を堅持するかを決定しなければならない。同法案が成立した場合、2026年1月1日に施行され、2035年12月31日まで有効となる。米国でストライキ中の労働者に対し失業手当を支給する規定を有するのは、現在のところ、ニュージャージー州とニューヨーク州のみであるが、オレゴン州でも、今年、同様の法案を審議中である。[\(4/14付シアトルタイムズ記事\)](#)

(4) シアトルのアパレル製造業が浮き彫りにする米国の製造業の国内回帰への課題

現政権が関税を武器に米国製造業の再建を強調するなか、シアトル市を拠点とする高級

アウトドア用品メーカーのフィルソン社は、市内での製造縮小を進めてきた。かつて製品の90%を米国内で生産していた同社は、現在、同比率が35%にまで低下し、製造の大半を外部委託し、現地従業員数は2015年の369名から現在は100名未満にまで減少した。同社がミシシッピ州への配送拠点移転とバングラデシュなどへの外部委託を推進する背景には、低賃金の海外労働力と米国国内の衣料品労働者層の縮小が、リショアリング（国内回帰）努力を阻害するという米国アパレル業界全体の直面する困難が反映されている。[\(4/19付シアトルタイムズ記事\)](#)

その他、ジェトロビジネス短信記事より

2025年4月24日 [トランプ米政権が中型・大型トラック、重要鉱物の輸入に対する232条調査を開始、パブコメ募集](#)

2025年4月22日 [トランプ米大統領、海産物の競争力強化へ、規制緩和や301条調査検討を指示](#)

2025年4月22日 [米USTR、中国の海事・物流・造船分野の301条措置内容を決定、中国船の米入港に追加料金、自動車船は中国船に限定せず](#)

2025年4月22日 [米相互関税の対象外品目は約1兆ドル規模、今後の分野別関税の発動次第で減少の可能性](#)

2025年4月18日 [自動車関税による車両コスト増は総額1,077億ドル、米調査機関の試算](#)

2025年4月18日 [初の日米関税協議を実施、閣僚級での協議継続で一致](#)

2025年4月15日 [トランプ米政権、半導体と医薬品輸入に対する232条調査を開始、パブコメ募集](#)

総領事館からのお知らせ

(1)【シアトル日本商工会主催】在留邦人のための安全対策セミナー「アメリカで安心して暮らすために」(再掲)

在シアトル日本国総領事館の領事による安全対策セミナーです。シアトル生活全般に加え、毎日を安心して過ごせるよう、各種事件・事故の傾向や最近の移民政策を受けて心掛ける事など、これまでの実例や経験等を踏まえてお話しします。ご家族とご一緒に、この機会をお見逃しなく！

【日時】2025年4月29日(火) 18:00-19:30

【会場】Angelo's of Bellevue - 1830 130th Ave NE, Bellevue, WA 98005

【参加費】無料

【申込】[こちら](#)から

(2)【SIJP主催】英語で学ぶコンピュータ・サイエンス season7 第4回「Tree Algorithm

／ ツリーアルゴリズム」～トランプで魔法使いになろう！ツリーアルゴリズムでデータの大冒険！

SIJP 主催による「英語で学ぶコンピュータ・サイエンス (CS in English)」です。今回は、コンピュータで頻繁に使用される「ツリー (木)」のアルゴリズムについて楽しく学びます。詳細は、[ウェブサイト](#)をご覧ください。

【日時】シアトル時間 2025 年 5 月 10 日 (土) 17 時 30 分～19 時 30 分 (日本時間 2025 年 5 月 11 日 (日) 9 時 30 分～11 時 30 分)

【参加方法】Zoom を使ったオンライン参加

【対象】小・中学生 (9 歳～15 歳ぐらいまで) ※内容は小中学生向けですが、高校生も申込み可。

【参加費】無料 ※参加条件：終了後のアンケートへの回答

【詳細】[ウェブサイト](#)

【5/11 熊本、能登、神戸地区オンサイト開催決定！】「英語で学ぶコンピュータ・サイエンス (CS in English)」が、今回は特別に **熊本・能登・神戸で同時開催されます！** オンサイトのイベント情報は、[こちら](#)をご覧ください。

編集後記：今月上旬に Elementary School の Spring Break を利用して、ユタ州とアリゾナ州にある計 8 か所の国立公園・名所を 6 日間かけて回ってきました (全走行距離約 3,000 マイル)。ワシントン州と異なり、現地では太陽光を遮るものがほとんどなく、かなり日焼けをしました。せっかくの機会ですので、勝手におすすめランキングを作ってみました。まず、第三位は、Antelope Canyon です。皆さん、よく写真で見られると思いますが、太陽光の差し加減によって地層 (岩) や砂の上に様々な光模様を映し出してくれます。年中乾燥気候と思っていたのですが、ガイドさんの話によると、6 月から 8 月まで雨期になり、1990 年代後半には鉄砲水が発生し、しばらくの間、ツアーが中止になったそうです。次に、第二位は、Arches National Park です。実は、きちんと予習ができておらず、Arches はてっきり固有名詞 (例：Olympic) だと勘違いしていました。現場に行ってはじめて Arche がたくさんあることがわかり、家族に笑われてしまいました。長年の浸食によって地層が Arche 型になり、現在も絶妙なバランスで壊れずに形状を維持している風景を見ると、地球誕生からの長い月日に思いを馳せることができます。最後に、第一位は、Monument Valley です。地平線から Monument Valley の地層 (mesa) へと昇っていく朝日を見ましたが、圧巻です。数千年前、もしかすると数万年前の古代人も同じ風景 (朝日) を見ていたと思うとなんとも言葉でうまく表現できない感動を覚えました。

(注意点) 本情報は、ワシントン州の主要な行政機関や団体のウェブサイトの情報をもとに、その時点における当地日系企業・NPO・邦人労働者に役立つ情報を、皆様のご参考とし

て迅速に日本語で届ける目的で発信しているものです。法的助言を構成するものではなく、法的助言として依拠すべきものではありません。実際の申請等に当たっては、該当するウェブサイトで最新の情報や詳細を直接ご確認ください。なお、当館として個別企業の申請書作成等の支援はできませんので、あらかじめご了承ください。

(免責) 本メール又は当館情報に関して生じた直接的、間接的、派生的、特別の、付随的、あるいは懲罰的損害及び利益の喪失については、それが契約、不法行為、無過失責任、あるいはその他の原因に基づき生じたか否かにかかわらず、一切の責任を負いません。

(領事メールについて) 当館では外国に3か月滞在される在留邦人に対し、旅券法に基づく在留届、帰国・転出等の届出をお願いしております。本届けでメールアドレスをご登録いただいた方に対して、各種安全情報を領事メールにてお送りしているほか、緊急時の安否確認を当館から行うためにも必要なものです。詳細はこちらをご覧ください。

https://www.seattle.us.embjapan.go.jp/itpr_ja/zairyu.html

(Unsubscribe:配信停止)

当館が把握しているワシントン州日系企業に本ニュースレターをお送りしております。今後、本メールが不要な方はその旨ご返信願います。

Consulate-General of Japan in Seattle
701 Pike Street, Suite 1000
Seattle, WA 98101